（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	しらゆりフレンドリークラブ			
○保護者評価実施期間	2025年　12月　2日	～	2025年　12月　31日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	56名	（回答者数）	34名
○従業者評価実施期間	2025年　12月　2日	～	2025年　12月　31日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	11名	（回答者数）	11名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　3月　26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	神戸市における多機関連携を活かした重層的支援体制	・法人内の児童家庭支援センター、相談支援事業所、障害者支援施設等と連携し、ライフステージを通じた支援体制を構築しています。 ・地域の保健・医療・教育機関とも情報共有を行い、神戸市の地域包括支援の流れに沿った連携を実践しています。 ・保護者や地域資源とのつながりを大切にし、地域共生の視点を意識した支援を行っています。	・児童発達支援センター機能としての役割を明確化し、地域への発信を強化します。 ・移行支援の見える化を進め、就学・進路移行における支援の質を高めます。 ・多職種連携の場を定期的に設け、専門性の融合を図ります。
2	地域とともに育つ支援環境づくり	・地域の保育所・学校・福祉施設・地域イベント等との交流機会を確保しています。 ・親子ふれあい教室や座談会を通じ、家族支援の充実を図っています。 ・地域に開かれた事業所運営を意識し、社会資源との協働を進めています。	・神戸市のインクルーシブ推進の方向性を踏まえ、地域交流の質を高めます。 ・参加しやすい形での家族支援機会を拡充します。 ・きょうだい支援を含めた包括的家族支援体制を整えます。
3	5領域に基づく個別支援と「楽しい体験」を重視した支援	・ガイドラインに基づく5領域支援を実践しています。 ・チーム支援を基盤とし、こども一人ひとりの特性に応じた計画を作成しています。 ・「楽しい体験」を重視し、主体性を育む支援を行っています。	・アセスメントの精度向上と支援内容の高度化を図ります。 ・研修やケース検討を通じて専門性を高めます。 ・こどもの自己選択・自己決定を支える支援を深化させます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援内容や体制のさらなる分かりやすさの向上	・実施している取組を、より体系的にお伝えする工夫が必要と考えています。 ・非常時対応や地域連携の内容について、理解を深めていただく機会をさらに充実させたいと考えています。	・支援の流れを図や資料で整理し提示します。 ・定期的な説明・共有の機会を設けます。 ・情報発信の整理と継続的発信を行います。
2	地域交流・家族支援のさらなる充実	・交流機会は実施しているものの、より多くのご家庭に活用していただく工夫が必要です。 ・各家庭の状況に応じた参加方法の多様化が求められています。	・少人数制やオンライン形式の導入を検討します。 ・参加しやすい日程設定を行います。 ・きょうだい支援の目的と内容を分かりやすく周知します。
3	安心して利用していただくための体制のさらなる充実	・法令基準は遵守していますが、より安心していただける体制づくりを継続していく必要があります。 ・利用ニーズの多様化への柔軟な対応が求められています。	・活動内容に応じた柔軟な職員配置を行います。 ・専門研修や振り返りの機会を充実させます。 ・利用ニーズを踏まえた運営体制の検討を進めます。

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	しらゆりフレンドリークラブ

児童発達支援センター

公表日 2026年 3月 26 日

対象人数（保護者）24人　回答者数 18人　回収 75%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15			3		人員配置基準を遵守し、加配職員を含めた支援体制を整えております。活動内容や時間帯に応じた配置の工夫を行い、こども一人ひとりに目が行き届く環境づくりに努めております。今後も安心感の向上に向け、体制の充実を図ってまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	1		1		生活動線や活動エリアの構造化、視覚的支援の活用などを通して、こどもが安心して主体的に活動できる環境を整えております。今後も個々の特性に応じた環境調整を重ね、分かりやすく安全性の高い空間づくりを継続してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	1				こどもの特性や背景を多角的に捉え、チームで共有しながら専門的支援を実践しております。今後も研修や専門職間の対話を重ね、児童発達支援センターとしての専門性をさらに高めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	17			1		公表している支援プログラムに基づき、日々の支援を実践しております。今後も活動内容とプログラムの整合性を丁寧に確認しながら、支援内容の分かりやすい発信を進めてまいります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17			1		児童発達支援計画に沿った支援を基本とし、日々の実践を通して目標の達成状況を確認しております。定期的なモニタリングとチームでの共有を行い、計画と実践が一致する支援を継続してまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	13		1	4		法人内保育園や地域との連携を通じ、こども同士が自然に関わる機会を設けております。今後は交流の取組をより丁寧に発信し、神戸市が推進するインクルーシブな環境づくりの一端を担えるよう取り組んでまいります。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	1				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	1		1		児童発達支援管理責任者より児童発達支援計画を提示しながら、目標や支援内容について丁寧にご説明しております。保護者の皆様と共有しながら内容を確認し、ご理解いただけるよう努めております。今後もより分かりやすい説明を心がけ、計画と日々の支援が見通しをもって伝わるよう取り組んでまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17		1		定期的な情報交換の場所があり有難いです	親子ふれあい教室を通じて、定期的な情報共有と学びの場を設けております。ペアレント・トレーニング実施資格を持つ職員が在籍しており、専門的視点からの家族支援を行っております。今後も児童発達支援センターとして、家庭と連携した支援の充実を図ってまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	17	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	1	1		いつも相談を親身に聞いてくださり、ありがとうございます。	定期的な面談に加え、日々の送迎時や電話等でもご相談いただける体制を整えております。保護者の皆様が安心してお話しいただけるよう、丁寧な対応を心がけております。今後も相談しやすい環境づくりを大切にし、子育てに関する助言や情報提供を継続してまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17			1		こどもやご家族の思いに寄り添うことを大切にし、日々の支援を行っております。職員間でも情報共有や振り返りを行いながら、共感的な関わりを心がけています。今後も一人ひとりの気持ちを尊重し、安心して過ごせる関係づくりを大切にしてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16			2	いつも楽しく行事に参加させて貰っています。	座談会や参観日、各種イベント、地域交流などを通じて、保護者同士やきょうだい同士が交流できる機会を設けております。楽しく参加していただける場づくりを大切にしながら、取組内容をより分かりやすくお伝えしてまいります。今後も家族全体を支える視点を大切にし、交流の機会を継続・充実させてまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17			1		こどもやご家族からのご相談やご意見を受け止める体制を整え、日常的にもお声がけいただける環境づくりを大切にしております。相談窓口や対応の流れについても丁寧にお伝えし、迅速かつ適切に対応しております。今後も安心してご相談いただける体制の充実を図ってまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	1				こどもの特性に応じた視覚支援や具体的な説明方法を取り入れ、保護者の皆様とも日常的に情報共有を行っております。今後も伝達方法の工夫を重ねながら、相互理解を深める関係づくりを継続してまいります。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	17			1		通信やホームページ等を活用し、日々の活動や行事予定、自己評価結果などを発信しております。今後も内容や発信方法を工夫し、必要な情報がより届きやすい形で共有できるよう取り組んでまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16			2		個人情報の適切な管理を徹底し、法令に基づいた取扱いを行っております。今後も職員間での確認と研修を継続し、安心してご利用いただける体制を維持してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12			6		事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応等の各種マニュアルを整備し、定期的な訓練を実施しております。今後は実施内容や取組状況をより分かりやすくお伝えし、安全管理の取組を見える形で共有してまいります。マニュアルはいつでもご覧いただけますので、お気軽にお声がけください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14			4		毎月、避難訓練や安全確認訓練を実施しております。引き続き定期的な訓練を継続するとともに、実施状況について分かりやすくお伝えし、安全対策の充実を図ってまいります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	17			1		こどもの安全確保を最優先に、計画に基づいた支援を行っております。今後も安全管理の徹底と環境整備を継続し、安心して過ごせる環境づくりを進めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	2		1		事故等が発生した際には、速やかな連絡と状況説明を行っております。今後も分かりやすい情報共有を心がけ、保護者の皆様に安心していただける対応を継続してまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか 。	18					お子さまが安心して通所できているとの評価をいただき、大変ありがたく受け止めております。引き続き、一人ひとりが安心感をもって過ごせる環境づくりを大切にしてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16	2				こどもたちが通所を楽しみにできるよう、「楽しい体験」と成功体験を大切にしております。今後も主体性を尊重しながら、笑顔あふれる活動づくりを進めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	1				多くのご家庭から満足との評価をいただき、励みとなっております。今後も丁寧な支援と対話を重ねながら、より一層満足していただける事業所運営を行ってまいります。

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	しらゆりフレンドリークラブ

放課後等デイサービス

公表日 2026年 3月 26 日

対象人数（保護者）23人　回答者数 9人　回収 39.1%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5	2	1	1		法令に基づく人員配置基準を遵守し、活動内容に応じた職員配置を行っております。引き続き、こども一人ひとりに目が行き届く体制を大切にし、安心してご利用いただける環境づくりを進めてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8			1		日々の清掃や環境整備を徹底し、心地よく過ごせる空間づくりを行っております。活動内容に応じた環境調整も行いながら、安心感と快適さの両立を大切にしてまいります。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	1				こどもの特性や発達段階を丁寧に把握し、専門性に基づいた支援を行っております。職員間で情報共有やケース検討を行いながら、個別性を大切にした支援を継続してまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	8	1				公表している支援プログラムに基づき、日々の活動を実施しております。今後も活動内容とプログラムの整合性を確認しながら、分かりやすい発信を心がけてまいります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8			1		放課後等デイサービスガイドラインに基づき、「本人支援」「家族支援」「移行支援」の視点を踏まえた計画を作成しております。今後も支援内容を分かりやすく共有し、具体的な取組が見える形でお伝えしてまいります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7	2				個別支援計画に沿って日々の支援を行い、定期的な振り返りを実施しております。今後も計画と実践の整合性を大切にしながら支援の質を高めてまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	2				活動が固定化しないよう、こどもの興味や成長段階に応じたプログラムの工夫を行っております。今後も多様な体験機会を提供し、主体的な活動を支える環境づくりを進めてまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1	1	4		地域の公園やイベントへの参加、アリスガーデンテラスでの交流機会を設けております。今後は実施内容をより丁寧に周知し、ニーズに応じた参加機会の充実を図ってまいります。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8			1		契約時に運営規程や支援プログラム、利用者負担等について丁寧にご説明しております。今後もより分かりやすい資料の工夫を行い、安心してご利用いただけるよう努めてまいります。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	2		3		座談会等の交流機会を設けておりますが、より参加しやすい内容や形式について工夫を進めてまいります。また、ペアレント・トレーニング実施資格を有する職員を配置しており、ニーズに応じた家族支援を行ってまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	8	1				送迎時やHUGシステム等を通じて、日々の様子や成長の変化を共有しております。今後も丁寧な対話を大切にし、健康や発達について共通理解を深めてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	1				定期的な面談を実施するとともに、随時ご相談をお受けしております。今後も気軽にご相談いただける環境づくりを継続してまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8	1				こどもやご家族の思いに寄り添うことを大切にし、共感的な関わりを心がけております。職員間での振り返りや情報共有を行いながら、安心できる関係づくりを継続してまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	1		3		保護者交流や地域交流の機会を設けておりますが、より多くのご家庭に活用していただけるよう周知や内容の工夫を進めてまいります。今後も家族全体を支える視点を大切にし、交流機会の充実を図ってまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8		1			こどもやご家族からのご相談やご意見を受け止める体制を整えております。日常的にお声がけいただける環境づくりを大切にし、迅速かつ丁寧な対応を心がけております。今後も相談しやすい体制の周知を進めてまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	1				こどもの特性に応じた伝達方法や視覚支援を取り入れ、保護者の皆様とも日々の情報共有を行っております。今後も相互理解を深められるよう、伝達方法の工夫を継続してまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8	1				通信やホームページ等を活用し、活動概要や行事予定、自己評価結果等を発信しております。今後も内容や発信方法を工夫し、必要な情報がより分かりやすく届くよう努めてまいります。

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8			1	特定できるような写真が、SNSに掲載されていた。(特定できないレベルでは掲載可としていたが)	個人情報の適切な管理に努めておりますが、ご意見を真摯に受け止め、写真掲載基準の再確認と職員間での共有を徹底いたしました。今後は掲載前の確認体制をより強化し、安心してご利用いただける情報管理を継続してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	1		1		事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応等の各種マニュアルを整備し、定期的な訓練を実施しております。マニュアルは事業所内でいつでもご確認いただけます。今後も訓練実施状況を丁寧に共有し、安全で安心できる環境づくりを継続してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7			2		地震・火災等を想定した避難訓練を定期的に実施しております。今後も実践的な訓練を継続するとともに、実施状況について丁寧に周知し、安全意識の向上に努めてまいります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	7	1		1		こどもの安全確保を最優先に、計画に基づいた支援体制を整えております。今後も安全確認や環境整備を徹底し、安心して活動できる環境づくりを継続してまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	1		1		事故等が発生した際には速やかにご連絡し、状況や対応内容について丁寧にご説明しております。今後も迅速かつ分かりやすい情報共有を心がけ、信頼関係を大切にしてまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	8			1		こどもたちが安心して通所できているとの評価をいただき、ありがたく受け止めております。引き続き、一人ひとりの気持ちに寄り添い、安心感のある環境づくりを大切にしてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	7	1		1	毎日しらゆり？？と確認してくるくらい日常に浸透しています。	「毎日確認してくれるほど日常に浸透している」との温かいお言葉をいただき、大変嬉しく思います。今後もこども一人ひとりの興味や安心感を大切にし、楽しく主体的に活動できる環境づくりを重ねながら、通所がより楽しみになる支援を継続してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	6	2	1			貴重なご意見をありがとうございます。運営体制や職員配置、利用ニーズを踏まえながら検討を進めてまいります。今後もより利用しやすい環境づくりに努め、満足度の向上を図ってまいります。

（別紙５）

公表　保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	しらゆりフレンドリークラブ

保育所等訪問支援

公表日 2026年 3月 26 日

対象人数（保護者）9人　回答者数 7人　回収 77.8%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	5			2		訪問先やこどもの特性に応じて必要な教具教材を準備しております。個別的な環境調整が必要な場合は、ご本人や訪問先と相談しながら柔軟に対応してまいります。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	6			1		訪問先と連携し、プライバシーに配慮した面談環境の確保に努めております。今後も安心してご相談いただける環境づくりを継続してまいります。
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	7					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	6	1				訪問頻度や支援時間については、保護者および訪問先と相談の上で決定しております。今後も状況に応じた柔軟な調整を行い、効果的な支援を継続してまいります。
適切な支援の提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	7					
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	6		1			支援開始時には訪問先を訪問し、担任の先生方と支援計画や支援内容について共有する機会を設けております。今後もより丁寧な説明と協議を重ね、訪問先の意向を十分に反映できるよう努めてまいります。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6			1		保育所等訪問支援ガイドラインを踏まえ、具体的な支援内容を設定しております。今後も内容を分かりやすく共有し、支援の目的や方法が明確になるよう取り組んでまいります。
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6			1		個別支援計画に基づき、訪問先や保護者と協議しながら、その時の状況に応じた支援方法を検討・実施しております。今後も柔軟かつ丁寧な対応を継続してまいります。
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	6			1		訪問先施設の方針や環境に配慮しながら支援を行っております。今後も円滑な連携を大切にし、施設と協働する支援を継続してまいります。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6			1		利用開始時に、運営規程や利用者負担等について丁寧にご説明しております。今後も分かりやすい資料や説明を心がけ、安心してご利用いただけるよう努めてまいります。
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	7					
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	7					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7					
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7					
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7					
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	6			1		訪問先施設からの相談に応じ、必要な助言や支援を行っております。今後も訪問先との情報共有内容を丁寧にお伝えし、三者間の連携を強化してまいります。

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	7					
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	7					
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6			1		通信やホームページ等を通じて、活動概要や連絡体制、自己評価結果等を発信しております。今後もより分かりやすい情報提供を心がけ、安心してご利用いただけるよう努めてまいります。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	5			2		緊急時の対応については、訪問先施設と事前に確認を行い、連携して対応できる体制を整えております。今後も情報共有の内容をより丁寧にお伝えし、実践的な連携体制の強化に努めてまいります。
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	7					
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	7				楽しみにしています！	「楽しみにしています」とのお声をいただき、大変嬉しく思います。こどもが安心し、前向きな気持ちで訪問支援を受けられるよう、信頼関係を大切にした支援を今後も続けてまいります。
	28	事業所の支援に満足していますか。	7				訪問支援ありがとうございます。先生が来られると息子も喜んでいると聞いてます。	温かいお言葉をいただき、励みとなっております。訪問先や保護者の皆様と連携しながら、こどもの成長を支える支援を今後も丁寧に行ってまいります。

（別紙６）

公表　訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名
しらゆりフレンドリークラブ

公表日　2026年　3月　26日

対象施設数　3施設　回答施設３施設　回収 100%

保育所等訪問支援

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	2	1		・施設での対象児の様子や支援方法などを共有してもらいながら、分かりやすく助言していただいている。 ・説明を聞き、課題に対する実際に関わる様子がみれて参考になりました。 ・療育施設からの巡回に定期的に来ていただくことが初めてで、どのように進めるべきなのか戸惑うところもありました。もう少しお話をしていただく時間がとれるようにしたいと思っております。	訪問支援の進め方について丁寧な説明と対話を行うとともに、相談や振り返りの時間を確保し、より取り入れやすい助言に努めてまいります。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	2	1		・専門的な視点からの助言をいただけるので、とても参考になる。 ・保育士だけでは気づかない視点についても教えてもらいよかったです。	専門的な視点を活かし、現場で実践しやすい助言ができるよう努めるとともに、引き続き職員の専門性向上に取り組んでまいります。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	2	1		・毎週来ていただけるていることで、その時に悩んでいることをタイムリーに回答していただけている。 ・毎週来てもらえるので相談しやすくしらゆりさんでの様子も聞けて勉強になりました。	定期的な訪問機会を活かし、現場の課題に対してタイムリーかつ具体的に助言できる体制を維持するとともに、日々の状況共有や対話を通じて、より相談しやすく実践に活かしやすい支援を継続してまいります。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	2	1		・相談しやすく一緒に考えてもらえている関係性を作れていることで、インクルーシブ保育の難しさや不安が軽減されている。 ・保育所としらゆりさんがつながっていることがよく分かりました。頑張る姿が増えて、次第に定着しました。	訪問支援を通じて築かれた相談しやすい関係性を大切にしながら、現場とともに課題解決に取り組む支援を継続し、インクルーシブ保育の不安軽減や支援の定着につながる関わりを一層充実させてまいります。
5	事業所からの支援に満足していますか。	2	1		・専門的な視点からだけでなく、保育所という環境の中で支援やかかわりについて一緒に考えていただけてとても満足している。 ・保育士自身も来てもらえることに、安心感をもっています。	専門的な視点に加え、保育現場に寄り添いながら共に考える支援を継続し、保育士の安心感につながる関係性を大切にしつつ、より満足度の高い支援の提供に努めてまいります。

その他のご意見	ご意見を踏まえた対応
継続してきてくださり、対象児だけでなく周りの子まで来てもらうことに喜んでいました。専門的な知識がある方と一緒にこどもと関わることができ、保育士の成長にもつながるのでこどもにとっても良い影響になったと思います。いつもありがとうございます。	

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	しらゆりフレンドリークラブ

公表日　2026年　3月　26日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・活動内容や人数に応じて活動場所を分け、空間を有効活用している。 ・活動ごとにエリアを分け、安全に配慮した運用を行っている。	・利用者目線をより意識し、ゾーニングの明確化を進める。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・人員基準を満たし、状況に応じて活動内容や一日の流れを工夫している。 ・受け入れ時に利用人数とのバランスを考慮している。	・より安定した体制維持に向け、配置バランスの最適化を図る。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・見通しの良い環境づくりを意識し、死角を減らす職員配置を行っている。 ・助成金等を活用し、段階的に環境改善に取り組んでいる。	・建物構造上の段差や設備面に改善の余地がある。 ・安全性と分かりやすさの向上に向け、段階的な環境改善を進める。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・清掃を徹底し、心地よく過ごせる環境づくりに努めている。 ・屋外活動を取り入れ、活動の幅を広げている。	・活動環境のさらなる充実と安全配慮の強化を図る。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	○		・必要に応じて別室や屋外スペースを活用し、個別対応を行っている。 ・状況に応じた柔軟な対応が可能である。	・個別空間の安定確保と環境調整の質向上を図る。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・日々のミーティングや定期的な対話の中で振り返りを行っている。 ・職員体制の中で目標共有や改善に向けた話し合いを実施している。	・改善プロセスの可視化と共有の強化を図る。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・日々の保護者とのコミュニケーションを大切にし、意向把握に努めている。 ・評価結果を踏まえた話し合いを行っている。	・評価結果の共有方法を整理し、活用の透明性を高める。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・月1回の研修や意見交換の機会を設けている。 ・日常的な対話の中で改善提案を取り入れている。	・意見反映の流れをより明確にしていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・法人内監査等を通じて運営面の確認を行っている。 ・中立的な相談機能が法人内に設置されている。	・外部視点の活用方法をより分かりやすく共有していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・虐待防止研修等の必須研修を実施している。 ・研修システムやアプリを活用し、学習機会を確保している。	・専門性向上に向けた研修内容の拡充を図る。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	○		・支援プログラムを作成し、ホームページやSNSで公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・こどもと保護者のニーズを踏まえ、客観的な視点で計画を作成している。	・アセスメントの視点や方法について共通理解をより深めていく。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・会議を行い、保護者説明・同意まで仕組み化している。 ・チーム支援の視点で検討している。	・検討内容の共有方法を工夫し、より分かりやすい連携体制を整えていく。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	○		・システム（HUG）で常時確認できる体制を整えている。 ・会議内で支援内容の共有を行っている。	・計画確認の機会を意図的に設け、計画に基づく支援の質向上を図る。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・日々の行動観察や話し合いを通して状況把握を行っている。 ・システム内ツールを活用している。	・標準化された視点の整理を進め、支援の質向上につなげる。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・ガイドラインおよび支援プログラムに基づき、児発管を中心に計画を設定している。	・ガイドライン内容の理解をより深め、全職員で共有していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・チームで確認しながら立案する仕組みを整えている。	・変更点等の共有方法を工夫し、より円滑な情報伝達を行う。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・話し合いの中で工夫やアドバイスを取り入れている。	・定期的な見直しや研修を通じて、プログラムの更新を継続していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・集団の中でも個を大切にした支援を行っている。	・計画との連動をより明確にし、実践の質を高めていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・支援前に役割分担を確認し、ツールを活用して連携している。	・打合せの効率化を図り、より効果的な連携体制を整える。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	○		・気づきを共有し、次の支援に活かしている。	・振り返りの機会を安定的に確保し、質の向上を図る。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・システムを活用し、記録と共有を行っている。	・小さな気づきも積極的に共有し、改善につなげていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・定期的にモニタリングを実施し、必要に応じて見直している。	・モニタリング内容の共有を整理し、理解の統一を図る。
	放デイ	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○		・４つの基本活動を組み合わせ、５領域を意識した支援を日々検討している。	・こどもがより主体的に参加できる活動展開を進めていく。
	放デイ	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・活動選択の機会を設け、自己決定力を育む支援を行っている。	・選択肢の提示方法を工夫し、より主体性を引き出せる環境づくりを行う。
関係	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		センター長および児童発達支援管理責任者が参画している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・地域資源を把握し、法人内外で連携体制を整備している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・保育所等訪問支援を通じて相互理解を深めている。 ・見学や交流を実施している。	・訪問支援の活用を広げ、連携の質を高めていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・小学校等と情報共有を行い、移行支援を実施している。	・引き継ぎ資料や共有方法のさらなる充実を図る。
	放デイ	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			・緊急時対応の共有方法をより明確にする。

保機関や保護者との連携	放デイ	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		センター内で共有できている またセンター外とも相互理解に努めている	・必要に応じて訪問機会を拡充し、相互理解を深める。
	放デイ	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			・早期からの移行準備体制を整えていく。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		研修システムの導入・活用および外部研修、委託事業等の研修に参加している	・専門家からの助言機会を段階的に広げる。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		自立支援協議会、神戸市連絡会、放課後等デイサービスネットワーク協議会などに参加している	
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		法人内保育園、アリスガーデンテラスおよび地域イベントや公園活動を通して交流・活動する機会をつくっている	・地域参加の幅を広げる。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時や連絡ツール、面談を活用して情報共有している。	・共通理解の確認機会を増やす。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・親子ふれあい教室を実施している。 ・ペアレントトレーニング資格を有する職員を配置している。	・ニーズに応じた実施機会の周知を進める。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・見学、相談受付、インテークから契約時まで丁寧な説明を行っている。	・説明資料の分かりやすさを高め、理解確認の機会を充実させる。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・こどもと保護者の意向を確認し、最善の利益を優先した計画作成を行っている。	・意向確認のプロセスをより可視化し、共有の質を高める。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	○		・計画書を提示しながら説明を行い、同意を得ている。	・説明機会をより丁寧に設け、理解度の確認を強化する。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・定期面談や親子ふれあい教室を通して相談対応を行っている。	・相談しやすい環境づくりをさらに進める。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・親子イベントや季節行事を通じて交流機会を設けている。 ・座談会等の機会を提供している。	・参加しやすい日程設定や周知方法を工夫し、機会の体系化を図る。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・契約時に周知し、担当窓口を設置して迅速対応を行っている。	・相談窓口の発信方法を工夫し、より分かりやすい周知を行う。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・通信やSNSで活動内容を写真やイラストとともに発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報保護に留意し運用している。	・職員間での確認体制を継続強化する。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・契約時や日常の中で相談機会を設けている。	・地域との協働機会を広げ、主体的な発信を強化する。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・地域イベントやアリスガーデン等で交流の機会を設けている。	

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・事故防止、緊急時、防犯、感染症対応等の各種マニュアルを策定している。 ・職員間で共通認識を持ち、訓練を実施している。 ・必要時に閲覧できる体制を整えている。	・保護者への周知方法をより分かりやすく工夫する。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・業務継続計画（BCP）を策定している。 ・他部署と連携し、毎月避難訓練を実施している。 ・こどもたちの防災意識向上にもつながっている。	・実践的な訓練内容の充実を図る。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約時および日常的に健康状況を確認している。	・情報更新のタイミングを明確化し、継続確認を徹底する。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・契約時に確認し、保護者の意向を踏まえて対応している。 ・必要時には主治医の意見を確認している。	・医師指示書の取得体制を整理し、より明確な対応基準を整備する。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画を作成し、毎月報告書を基に職員間で共有している。	・安全研修内容のさらなる充実を図る。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	○		・おたよりやシステムを通じて安全に関する取組を周知している。	・周知内容の分かりやすさを高める。